

## 1. 本時のねらい

- 避難所を知り、今後起こると予測されている災害に備える。
- 避難所という空間の生活を意識し、みんなで生きることを考える。

## 2. 活動過程

時間	活動内容	授業者の支援	資料	メモ
	1 大地震発生後に避難所である体育館に避難してきた時の気持ちを考える ・地震の揺れが怖かった。 ・避難所に着いて安心。 ・早く避難所に入りたい。 ・これからどうなるのか不安。	○地震後に避難所に集まってきた様子を想像し、その時の気持ちを自由に発表させる。 ○どんな意見も共感的に受け止め、受容する。		
5	2 避難所について知る ・毛布1枚分なんて狭すぎて悲しいと思った。 ・隣の人と近すぎて嫌だ。 ・壁も仕切りもないので、毛布1枚分というのは狭すぎる。 ・3ヶ月も生活するなんて辛い。	○毛布1枚が大人1人分のスペースであることを理解させる。 ○避難所には知らない人がひしめき、仕切りなども無い中で長期間生活することを理解させる。	毛布1枚 避難所の写真 防災ガイドブック	
8	3 本時の課題をつかむ 避難所とはどのようなところか体感し、そこには様々な人が避難してくることを理解し、居場所を話し合うことで、避難所という場にみんなで生きることを考えよう。	○避難所がどのようなものかを知り、災害後に避難所で生活することを想像し、課題をつかませる。		
10	4 体育館の中で自分が居たいと思う場所に自分の名前を書いた付箋を貼る *体育館の壁際に貼る児童が多い。 *四隅に児童がかたまる。 *入り口の近くに貼る児童がいる。 *真ん中に貼る児童はいない。 *友達同士かたまって貼る。	○付箋に自分の名前を書かせる。 ○机の2列ごとに教室の前に出て、黒板に貼った体育館見取り図の中に、付箋を貼らせる。	体育館の見取り図（模造紙大） 付箋	

15	<p>5 グループワーク</p> <p>①避難所のどこに居る？ を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人に囲まれないので壁際がいい。</li> <li>・壁にもたれて座れるので壁際がいい。</li> <li>・人の出入りが気にならないので一番奥がいい。</li> <li>・出入りがしやすいので入り口の近くがいい。</li> <li>・まわりを人に囲まれるから真ん中は嫌だ。</li> <li>・知らない人が近くにならないように知っている人が居る所がいい。</li> </ul> <p>②他の人と居たい場所の希望が重なったらどうする？ を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・話し合っで決める。</li> <li>・その人の希望を聞いて譲ってあげる。</li> <li>・途中で交替することに決める。</li> <li>・ジャンケンで決める。</li> </ul>	<p>○自分が居たいと思った場所とその理由を順番に出し合わせる。</p> <p>○その場所は多くの人希望するかもしれない時、どうするかを話し合わせる。</p> <p>●話し合いの中で出てきた意見を、ファシリテーター(ボランティア等)が模造紙に書き取る。</p> <p>●ファシリテーターは模造紙に希望の場所、理由、重なった時、どうするのかを分類して記す。</p> <p>●ファシリテーターは、話し合いの中で児童が発言した内容から、避難所で居場所を決めていく時に困ること、話し合いで困ったこと、良いと思ったことなどを感じ取り、模造紙に分類して記す。</p>	<p>各グループ 模造紙1枚 マジック 1セット</p>	
30	<p>6 発表する</p> <p>*各グループで発表者を決めておく。</p>	<p>○模造紙を見ながら、話し合ったことをグループの代表に発表させる。</p>		
40	<p>7 まとめ</p>	<p>●避難所での生活はそこに集まる人がみんな生活するところなので、話し合いや思いやりが大切なことを伝える。</p>		
45				